



蓮田・白岡地方ユネスコ協会

きずな

NEWSLETTER

蓮田・白岡地方ユネスコ協会

発行人:会長 田村勝彦

VOL. 33
31, 8 2025

◆ 目 次 ◆

2025年定時総会開催報告	・・・1	「珠洲市災害ボランティア」報告	・・・3
会長コラム	・・・1	「カンボジアスタディツアー」報告	・・・3
平和の鐘を鳴らそう IN 真浄寺	・・・2	活動記事、会員紹介	・・・4
「感動体験 堀ビル探検隊」報告	・・・2	お知らせ	・・・4

2025年 蓮田・白岡地方ユネスコ協会定時総会開催報告

2025年5月24日(土) 蓮田市立図書館
視聴覚ホール

5月24日(土)蓮田市立図書館視聴覚ホールで2025年度定時総会が開催された。

山口蓮田市長他ご来賓がご臨席のもと、出席者、委任状、合わせて58名、会員総数88名(3月31日現在)の2/3以上で総会は成立し、第1議案から第6議案全て承認いただいた。

2024年度は、みんなでつくるこども・若者の居場所「U-スマイリー」の活動がスタートし、蓮田市との包括連携協定も締結。学校支援協力活動として、市内の小中学校の児童・生徒への国際理解、異文化理解、キャリア教育、人権についての講演会の提供、子ども～大人、誰もが参加のできる感動体験も多く企画された。第3号議案 役員改選は以下の通り役割を決定 第6号議案 U-Smile事業「U-スマイリー」の活動説明は、ユース代表リーダー:長井 杏海さん、学生リーダー:江原 美鈴さんがパワーポイントで報告した。

今年は、青年・学生会員も多数参加し準備を進めてくれた。



学生ユース会員による
U-スマイリーの活動報告



〔新役員紹介〕

新任副会長(兼事務局長):江原 泰子

事務局長補佐:花田 愛

新任理事:田中 和之、内山 尚子

協会創立18周年のご報告と今後の活動について

会長 田村 勝彦

おかげさまで、当協会は創立18周年を迎えることができました。

前回、私は「活動のフェーズをOneからTwoへ」と宣言し、さらに充実した活動を目指すこと、そして会員や支援者の皆様の期待に応えられる協会運営を誓いました。

その結果、青年・学生会員や、協力してくださる賛助会員の方々が増え、会員数は91名

(うち青年・学生会員22名)に達しました。昨年からはじめた「U-Smile事業」は、

従来の会員向けの活動だけでなく、より広い社会的使命を持った教育活動です。

この事業は、さまざまな事情を抱える子どもたちが安心して過ごし、多くの子どもたちに種々の体験の機会を持てるように支援することを目的としています。

また、昨年締結した蓮田市との包括連携協定や、協会連盟が提唱する複数のプロジェクトも「U-スマイリー」事業を推進するうえで大きな効果を発揮しています。こども・若者の居場所づくりに取り組む若者たちが、学業の合間に協会の会員として協力してくれていることも大きな力となっています。

今まで接点のなかった分野にも、活動の輪がどんどん広がっています。今年度も、良きパートナーが定着し、地域の皆様から少しずつでも理解と協力を得られるよう、挑戦の年・勝負の年として取り組んでまいります。活動は多岐にわたりますが、今後とも皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



第3回 平和の鐘を 鳴らそう in 真浄寺

2025年7月19日(土)

埼玉県蓮田市真浄寺



平和の願いをこめて



花びらの会の皆さま

埼玉県蓮田市の真浄寺をお借りして、民間ユネスコ運動の日、「第3回平和の鐘を鳴らそう」が行われた。今年は戦後80年という節目の年でもある。参加者は小学生4年生～戦争を経験した方々も含め62名が参加した。

平和を願い、平和に暮らすために確認をする貴重な1日となった。山口蓮田市長、安田学校教育部長のお話があり、真浄寺のご住職のお話では「鐘楼の天井にはたくさんの人の絵や言葉が描かれている、鐘をつく際に一緒に平和への想いをのせて撞いてみてください」というお話もあった。「花びらの会」の朗読では「朝のリレー」「二十六夜まいり」(特攻隊員の物語)を読んでもいただいた。話の情景を想像して改めて戦争を繰り返してはいけないと再確認した。その後「コール・エコー」&「C.E.M.C」さんの混声コーラスでは関口茂様の軽快な指揮とピアノの演奏とともに力強い歌声が響き、今年も生きている喜びと勇気をいただいた時間になった。

最後は、自分自身が考える平和への願い・平和の尊さに願いをこめて鐘撞をした。



真浄寺のご住職



コールエコー・C.E.M.Cの皆さま



ご参加していただいた皆さま

U-スイミー活動

感動体験報告

新橋 堀ビル探検隊

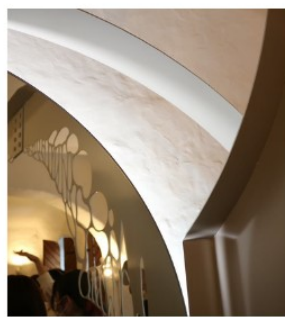
温故知新

「衣・食・住」で学ぶ
建築ワクワク感動体験

2025年2月2日(日)



新橋堀ビル



SAVANTショールーム

★共催★

(株)SAVANT

☆協力☆

(株)竹中工務店

COT-Lab@新橋

グッドルーム(株)

goodoffice新橋

堀商店

1932年築、登録有形文化財である、港区新橋の「堀ビル」(goodoffice新橋)。そのビルは歴史を引き継ぎモダンな装飾性を残したまま、新橋の一角に素敵なたたずまいで残っている。(株)SAVANTのショールームがあったこの場所に幾田代表のご提案で、U-スイミーの小学生～高校生20名とユース会員、関係者総勢45名が新橋の小さいお城に探検へ…(株)竹中工務店・(株)グッドルームがレガシー活用(過去から受け継がれてきた伝統や遺産など価値あるものを有効に利用すること)を手掛けた堀ビルで、U-スイミー探検隊は最高の「衣・食・住」おもしろワクワク発見、感動体験をさせていただいた。おしゃれな古き良きものに触れ、素敵な異空間でこどもたちのキラキラした笑顔が一日あふれていた。

体験コース：レガシー活用・コンセプトにあった絵本読み聞かせ、廃材から作られたドレスのアートピース体験、屋上ガーデン(薄層緑化)のハーブ摘みとブーケ作り、五感レスポンス体験、おしゃれランチとお菓子 等…



☆レガシー活用・コンセプト説明・読み聞かせ・ブーケ作り



アートピース体験ファッションショー



★(株)SAVANT



★おしゃれランチ



五感レスポンス体験

☆(株)竹中工務店

U-スイミー活動

能登・珠洲市 災害支援ボラン ティア報告

2025年6月28日(土)
～6月29日(日)



何事も無かったように美しい
能登の海（見附島）



U-スイミーの参加者

大阪 箕面ユネスコ協会主催、石川県珠洲市災害支援ボランティアツアーにユーススタッフ6名（事務局2名）の合計8名が参加し、合同支援活動を行った。2日間を珠洲市災害ボランティアセンターで振り分けられた現場作業をした。この貴重なボランティア体験は、夏休みスイミー活動日にこどもたちへも発信した。私たちは1年半経った被災地の現場を目の当たりにした…
バスで移動する時窓の外には、瓦がはずれて斜めになっている家、潰れてしまっている神社、人々は災害前のいつもの生活を取り戻したいだけなのに、それが叶っていないことを思い知らされた。

現地で実感したことや人々とのふれあいの中で自分の心を動かされる出来事が幾度もあった。

1日目…海沿いの被害の大きかった地域での側溝の溝の清掃作業→

銭湯→二重被災の復興に向け、支援活動しているNP0法人YNFさんの支援拠点で能登の状況を伺うことができた→「おぎの家」宿泊

「そこに住み続けていた人は便利になることを求めているのではなく、今の生活を安心して送り続けられることを求めている」ということにハッとしました。

2日目…全壊認定家屋の家財や植木鉢などを運び出す作業

家主と話す機会もあり、地震のあとに発生した豪雨水害、度重なる災害に復興は予想以上に進んでいない。「とにかく継続して来てください」と言われた言葉が心に残る。息つく暇もないほど被災に対応している様子を聞いたが、帰る私たちのバスが道の角を曲がるまでずっと手を振ってくださるご夫妻の姿に涙がこぼれた。

実際に土地に行って見聞きた現実を少しでも多くの人に知ってもらうにはどうしたらいいかを考えていきたいと思った。

（文責：内山 小桜）



再建を中心に支援をしている
YNFの勉強会



支援活動
（側溝泥かき・倒壊家屋荷物運びだし）



残っている被害状況



右から2番目が齋藤さん



日本ユネスコ協会連盟と(公社)かめのり財団との共催「第9回高校生カンボジアスタディツアー」に当協会推薦、U-スイミー兼ユース会員でありユネスコスクール（蓮田中学校）出身の齋藤悠聖さんが、全国ユネスコスクール・協会推薦の90名応募の中から10名に選ばれ参加した。カンボジア国は東南アジアのインドシナ半島に位置し、世界遺産アンコールワット遺跡が有名である。どんな活動をして、カンボジアという国を感じてきたのか？夏休みのスイミーのこどもたちに歴史を交えて詳しく話してくれた。「実際に目の当たりにして学ぶことが多かった。あらためて日本が恵まれている国だと感じた。悲しい歴史があっても人々は明るく過ごしていて素晴らしい国だと思った」

Q. どんな国か？

A. 食事の主食は米、ハーブやスパイスがきいた料理が多い。

教育と経済格差が激しい、富裕層と貧困層で教育格差が生まれている。

都市と地方で街並みが大きく違い、貧困層は働かなくてはならないので学校をやめてしまう。大人でも字が読めない人もたくさんいる。識字教育が必要なこともわかった。寺子屋は将来自分の力で生きていくための技術を学んでいた。

Q. U-スイミーの活動に活かそうだと感じたことはあったか？

A. 現地の教育事情をみてきたからこそ、改善できることも考えながら、Reborn作戦の活動に生かしていきたいと思った。



Reborn作戦の翻訳を絵本を託しました



記録

- 蓮田・白岡地方ユネスコ協会事務局主催
- U-スイミー主催
- ご協力いただいた団体
- 2025.2 ● 感動体験「堀ビル探検隊」
(株)SAVANT、(株)竹中工務店・COT-Lab®新橋
- 2025.3 ● グッドルーム(株)goodoffice新橋、堀商店
● U-スイミー「MOVIX」子ども会議
● 蓮田市食生活改善推進員有志の皆さま
- 2025.4 ● 蓮田駅西口クリーン作戦 #3
● 蓮田市食生活改善推進員有志の皆さま
- 2025.5 ● 2025年度蓮田・白岡地方ユネスコ協会
定時総会
- 2025.7 ● 蓮田駅西口クリーン作戦 #4
● 「平和の鐘を鳴らそう in 真浄寺」
● 蓮田市真浄寺・花びらの会・
- 2025.8 ● コールエコー・C.E.M.C
● 夏休みU-スイミー活動(ランチ提供)
● 蓮田市社会福祉協議会
● ネッサー(株)(三浦大玉すいか寄贈)
● 蓮田市食生活改善推進員有志の皆さま

今後の活動予定 ◆詳しくはHP等でご確認ください◆

- ★ 9/9(火) 蓮田市学校支援協力活動 黒浜南小(花田理事)
- ☆ 世代交流カフェ ～80年前のおはなし聞かせて～
9/13(土) 13:00～15:30 蓮田市環境学習館
- ☆ 10/15(水) 16:00～17:30 蓮田駅西口駅前クリーン作戦
- ★ 10/25(土) 地域文化遺産スタディ「埼玉の酒」(田中理事)
- ★ 12/6(土) 予定 文化遺産スタディ
伊能忠敬記念館、香取神宮、水郷佐原の街めぐり予定
- ★ 9月～学校支援協力活動(市内小中校) 5校講師派遣予定

お知らせ

当協会の活動に興味がある方、ボランティア活動に関心がある方、私たちと一緒に活動しませんか？
会員は、講演会・バスツアー、U-スイミー活動にもご参加いただけます。活動詳細は下記のQRコードでご確認ください。また、書き損じはがきの収集活動やU-スイミーの活動支援(活動支援募金等)にもご協力いただける方や団体様、ぜひ、ご協力をお願いします。事務局(070-2211-0329)

📱 活動の様子はこちら 📱



▲ HP

<http://www.hasuda-shiraoka.jp.org>



▲ LINE



▲ Instagram



▲ U-スイミー
登録フォーム

主だったその他の活動

- ・ 埼玉県ユネスコ連絡協議会理事会
- ・ 日本ユネスコ協会連盟評議員会
- ・ 蓮田市政策調整課との会議
- ・ 日本ユネスコ協会連盟主催のイベント参加(キザニア20名、沖縄2名)
- ・ Reborn作戦関係・夏休みイベント調整 他

NEW Member Introduction

柳井 啓子
やない けいこ
東京都 小金井市
前駐モルディブ共和国
日本国特命全権大使



協会とのご縁は昨年9月に第14回国際文化スタディで講演の機会を頂いたところから始まり、講演が終わったその当日会員となりました。迷わず入会を決めたのは、田村会長、江原事務局長、そしてスタッフの皆様方の情熱に惚れ込んだからです。私は海外勤務が長く、世界から日本を見ることが多かったですが、これからはユネスコの理念を蓮田白岡から実現・発信していく草の根活動に参加させて頂きたいと思っています。東京都民ではありますが、心は蓮田白岡の皆様と共にあります。



内山 小桜
うちやま こはる
東京都 稲城市
大学生

イベントの時の参加が中心になっていますが、本ユネスコ活動では出会いの大切さを実感しています。活動の中での出会いを通して日常生活で知る現実や問題は一部分に過ぎないのと感じました。定期的に行われるイベントや、ボランティア活動ではいろいろな方との出会いの中で新しい発見や考え方を多く学びました。6月に参加した能登のボランティアでは地域の方との出会いもあり、主体的に行動し、五感で感じることの大切さを学びました。これからも丁寧に活動にかかわりたいと思います。

編集委員会

向山 裕規・内山 尚子・内山 小桜

発行人 蓮田・白岡地方ユネスコ協会 会長 田村勝彦

電話 070-2211-0329

E-mail: hs.unesco2008@gmail.com